

＜今日の説教のポイント 創世記 45 章 1～15 節＞

驚くべきヨセフの言葉(4-8)。ここに聞くことに集中すべき箇所。

①色んな疑問を吹き飛ばす、予想外の、驚きのヨセフの言葉！

ヨセフを殺そうとした兄たちの突然の出現。身を明かさずに彼らを困らせ続けるヨセフ。一体ヨセフは何を考えているのか、どうしたいのか？ そんな疑問が大きくなってきた時に突然聞かされるヨセフの告白(4-8 節)。それは色々な疑問も全て吹き飛ばしてしまうような驚きの内容です。今日はこの箇所をしっかりと追いたいと思います。

②驚きを覚えさせられる理由 1 兄たちを全く恨んでいない！

何よりもまず驚かされるのが、ヨセフが兄たちをまったく恨んでいないということです。「わたしはあなたたちがエジプトへ売った弟のヨセフです。しかし、今は、わたしをここへ売ったことを悔やんだり、責め合ったりする必要はありません」(4-5)。なぜ、こう言えたのでしょうか。兄たちが自分の犯した罪を悔んでいるから？ いいえ、次を読むと、ヨセフ自身はそれとは別の理由を考えているのです。

③驚きを覚えさせられる理由 2 神様がそうされたと考えているから！

「命を救うために、神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのです」(5)、「神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのは」(7)、「わたしをここへ遣わしたのは、あなたたちではなく、神です」(8)。ヨセフは神様の大きなご計画を考え、その中で神様が自分を*用*いられることを考えています。兄たち人間ではなく神様を見つめ、兄たちの中にはなく神様の中に許せる理由を見出しているのです！

④罪を認めて謝ったら許せる許しではなく、神様のご計画を考えることで許せる許し！ 新しい可能性をどんな時にも持ち続けられる恵み！

信仰者になっても、相手を見つめて「罪を認めたら許してやる」という所で留まっている場合が多いのではないのでしょうか。しかし、ヨセフは相手に関係なく、どんな状況に置かれても見ておられる神様を見つめ、その中で起こされる神様の出来事に自分が*用*いられることを考える中で、他者を許せるようになっていくのです。しかも、その出来事は、自分のためだけでなく全ての人のために、どんな時どんな状態の中でも神様が起こされる、新しい可能性に満ちた出来事なのです。

(イザヤ書 41 : 8 - 16。イエス・キリスト。ネルソン・マンデラ)